

8月1日 市制施行50周年



姉妹都市 富山県黒部市
堀内康男 市長

市制施行50周年に寄せて

市制施行50周年を迎えられました根室市民の皆様、おめでとうございます。黒部市民を代表して、心からお慶び申し上げます。

根室市は、昭和32年に根室町と和田村が合併して以来、日本の水産業拠点都市として、50年の歳月を重ね発展してこられました。これは歴代の根室市長をはじめ関係各位、また市民の皆様が一丸となって市勢の発展に尽くされてきた賜であり、深甚の敬意を表しますとともに、根室市民の皆様におかれましては、歴史に刻まれたこの50年を顧みるとき、お一人ひとりの胸中にさまざまな出来事が思い出され、さぞかし感慨深いこととご推察申し上げます。

この50年は、歴史の節目であるとともに根室市の新たなスタートにむけた幕開けでございます。地方を取り巻く情勢は決して明るいものばかりではございませんが、皆様が築いてこられた半世紀の礎と先人の開拓精神を引き継がれ、英知と努力を結集し、市民との協働のまちづくりの精神のもと、長谷川市長が目指されます「ふるさと再興」が必ずや実現されるものと確信しております。

今後とも、姉妹都市根室市と黒部市の交流・親交が活発に展開されますとともに、根室市の限りない発展と、根室市民の皆様のご多幸を祈念いたします。

このたび根室市にあっては市制施行50周年を迎えられましたこと、真におめでたく心より慶賀の意を表します。この間半世紀、いまだ未解決の北方領土問題をはじめ、産業経済にあっても一段と厳しい環境、一方少子高齢化の現実にも直面されている中において、その対応に日夜努力されている市民の皆様へ深甚の感謝を申し上げます。

50年前を振り返りますと、東京根室会会員にあっては、市制施行当時、既に根室を離れている会員も多く、改めて年月の隔たりを感じております。

東京根室会は来年創立40周年を迎えますが、高齢化の傾向は避けられず、若い層の拡大を急務としています。会員数約600名、その家族や住んでいる地域の知人を含めると、大都会の中ではありますが、大きなネットワークを形成しております。今後ともこの組織をもって北方領土返還運動をはじめ、根室物産の消費拡大に努める所存であります。

次の節目までには大きな変化も予想されますが、北海道でも歴史ある根室、また世界に認知された大自然の根室が大きく飛躍発展されることをこいねがい、市制施行50周年の祝詞とします。

根室ネットワークを生かして



東京根室会
大村賢治 会長

